

業務の名称	大孔径膜(不織布)ろ過と生物処理を併用した雨天時処理システムに関する研究
業務概要	<p>本委託研究は、雨天時浸入水等による流量変動に対応可能な既存躯体を活用した水処理技術について、事業採算性や費用対効果等を含む普及可能性の検討を行うものである。</p> <p>具体的には、ICT及び観測技術を活用して雨天時浸入水量を予測し、既存躯体の処理能力を超過する水量に対して大孔径膜ろ過を行うことにより、雨天時放流汚濁負荷量を低減する技術について、事業採算性や技術性能の確認を行うものである。</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	<p>支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 木村 嘉富 茨城県つくば市旭1番地</p>
契約年月日	令和3年7月27日
契約業者名	造水促進センター・京都大学・北九州市立大学・フソウ・阿波製紙・日本水工設計共同研究体
契約業者の住所	東京都中央区日本橋横山町4番5号
契約金額(税込み)	¥39,952,000
予定価格(税込み)	¥39,963,000-
随意契約によることとした理由	<p>本委託研究については、国土交通省水管理・国土保全局により設置された学識経験者等からなる下水道革新的技術実証事業評価委員会において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同会議において審査基準にもとづき審査された結果、令和2年5月、本研究課題及び委託先(造水促進センター・京都大学・北九州市立大学・フソウ・阿波製紙・日本水工設計 共同研究体)が選定されたものであり、令和3年3月に同会議で中間評価が行われ、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、審査基準、選定結果及び令和3年3月の中間評価結果等については、国土交通省ホームページ等で詳細に公表されている。</p> <p>以上のことから、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記委託先と随意契約するものである。</p>
業務場所	茨城県つくば市旭1番地
業務区分	-
履行期間(自)	令和3年7月28日
履行期間(至)	令和4年3月31日
落札率	-
再就職の役員の数	-
備考	